

東京都 2,500 デジタル白地図 2025 DM データビューワ

Quick Start Guide

目次

1	はじめに.....	1
1.1	製品紹介.....	1
1.1.1	地形図データと添付のソフトウェア.....	1
1.1.2	地形図データの詳細.....	1
1.2	製品に関する著作権等について.....	1
1.2.1	内部利用とは.....	2
1.2.2	特定の第三者に対し提供する行為とは.....	2
1.2.3	複製により得られる成果(以下「複製品」という。)が測量成果としての正確さを要しないものとは.....	2
2	起動と画面構成.....	3
2.1	アプリの起動.....	3
2.2	画面構成.....	4
2.2.1	主な画面構成について.....	4
3	地図基本操作.....	6
3.1	基本機能メニュー.....	6
3.1.1	地図表示⇒拡大.....	6
3.1.2	地図表示⇒縮小.....	6
3.1.3	地図表示⇒範囲指定拡大.....	6
3.1.4	地図表示⇒虫眼鏡.....	7
3.1.5	地図表示⇒回転.....	8
3.2	テーマリスト.....	8
3.2.1	データ表示.....	8
3.3	メモ.....	9
3.3.1	シンボル共通機能.....	9
3.3.2	点の追加.....	12
3.3.3	線の追加.....	12
3.3.4	多角形の追加.....	13
3.3.5	円の追加.....	13
3.3.6	テキストの追加.....	14
3.3.7	吹き出し追加.....	14
3.3.8	ユーザデータ出力.....	15
3.3.9	ユーザデータ取込.....	16
3.3.10	ユーザデータ一覧.....	17
3.4	検索.....	17
3.4.1	町名検索.....	17
3.4.2	座標検索.....	18
3.5	エクスポート.....	19
3.6	印刷メニュー.....	19
3.6.1	プリンタ設定.....	19
3.6.2	印刷.....	20

3.6.3	印刷レイアウト	20
3.7	設定	25
3.7.1	単位設定	25
3.7.2	座標表示設定	25
3.7.3	ユーザデータ設定	26
3.7.4	ユーザデータ初期化	27
3.7.5	システム設定初期化	27
4	表示検索・計測メニュー	28
4.1	地図表示検索・計測メニュー	28
4.1.1	縮尺切り替え	28
4.1.2	属性表示	29
4.1.3	距離計測	30
4.1.4	面積計測	30
4.1.5	座標計測	31
4.1.6	その他 図面情報関連機能	31
5	免責事項	33
5.1	保証及び免責事項	33
5.2	賠償責任	33
5.3	紛争処理	33
6	資料	34
6.1	図式凡例	34
6.2	方眼北、真北及び磁北について	35

1 はじめに

1.1 製品紹介

1.1.1 地形図データと添付のソフトウェア

本製品の動作環境は、Microsoft Windows11 以上の OS 搭載のパーソナルコンピュータで使用できます。

本製品は、「東京都縮尺 1/2,500 地形図」の地形図データ及び添付のソフトウェアから構成されています。

地形図データは、株式会社ミッドマップ東京が令和5年2月から令和5年4月にかけて撮影した空中写真を使用し、公共測量作業規程に基づいたデジタルマッピング手法で作成したベクトルデータです。

添付のソフトウェアは、「東京都縮尺1/2,500地形図」の閲覧、計測、検索、エクスポート、印刷、メモ、検索及びユーザ設定などの機能を持っています。

1.1.2 地形図データの詳細

準拠する測地系は日本測地系 2011 (世界測地系)、公共測量座標系 (平面直角座標系) の第 IX 系となっています。

図郭座標値はメートル単位です。

標高は、東京湾平均海面 (TP) を基準としています。

等高線の間隔は、2m です。

1.2 製品に関する著作権等について

本製品の地形図の著作権、産業財産権 (以下、これらを総称して知的財産権といいます。) は、東京都に帰属し、添付のソフトウェアおよび添付の True Type Font の知的財産権は、株式会社ミッドマップ東京に帰属します。

本製品内容の複製 (DVD-ROM 添付のソフトウェアの機能を利用しない複製) や転用を禁止します。

本製品は、ユーザ1名につき1台のコンピュータで使用することができます。

ユーザは、本 DVD-ROM に添付しているソフトウェアの機能を利用することにより、地形図データ (地形図データを基に加工した二次的加工物を含む。) を内部利用の範囲で利用することができます。内部利用の範囲については、「1.2.1 内部利用とは」をご覧ください。

本製品に添付しているソフトウェアの機能を利用して、出力した地形図のみのデータ (いわゆる白地図状態の画像等) を、不特定多数の人を対象に配布 (インターネット上での公開も含む) することはできません。

地形図データを基に加工した二次的加工物を、不特定多数の人を対象に配布 (インターネット上での公開も含む) する場合は、別途、東京都への利用許諾と著作権使用料の支払が必要です。またその行為が『測量に供する場合』は、東京都による測量法の承認が必要となります。

著作権及び測量法に関する申請手続き等については、下記へお問い合わせください。

株式会社ミッドマップ東京

コールセンター電話: 03-5435-3698

E メールアドレス: midmap@midmap-t.co.jp

ホームページ: <https://www.midmap-t.co.jp>

1.2.1 内部利用とは

利用者が管理・借用する施設及び場所内において利用する行為をいいます。内部利用で利用する行為には、特定の第三者に対し提供する行為を含みます。

ただし、「測量法第 29 条の規定に基づく承認取扱要領の運用及び解釈」第2条関係第2項で明示されている「複製により得られる成果（以下「複製品」という。）が測量成果としての正確さを要しないもの」に該当する場合には、内部利用として取り扱うものとし、学会やイベントなどの講演要旨集などの資料や学術雑誌へ掲載する行為は、使用の規模に関係なくこれに該当するものとして取り扱うものとします。

1.2.2 特定の第三者に対し提供する行為とは

次の3つの行為に該当するものとします。

- ①都市計画審議会等の会議において、学識経験者や議員に提供する行為
- ②行政書類及び各種申請書類等の添付資料として、行政機関に提出する行為
- ③住民説明会において、名簿等により出席者を特定できる場合に、住民に提供する行為

1.2.3 複製により得られる成果（以下「複製品」という。）が測量成果としての正確さを要しないものとは

複製品が測量成果としての正確さを要しないものとは、以下のものをいう。

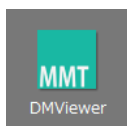
- ①正確さを要しないもの
 - 1) 書籍及びパンフレットへの地図の挿入（地図帳及び折込み地図を除く。）
 - 2) 緯度経度等の位置座標のない複製品のみの作成（一部の場合を除く。）
- ②他に内部利用として扱うもの（複製承認の不要なもの）
 - 1) 私的利用、社内、サークル、同好会、学校その他教育機関等の組織内での複製の場合
 - 2) 特定の者に対して提出する申請書、報告書等の添付資料や説明資料としての複製の場合
 - 3) 論文又は試験問題に利用するための複製の場合
 - 4) 一時的な資料として利用するための複製の場合

（測量法第 29 条の規定に基づく承認取扱要領（令和元年 11 月 1 日付国土地理院通達第 17 号）より一部引用）

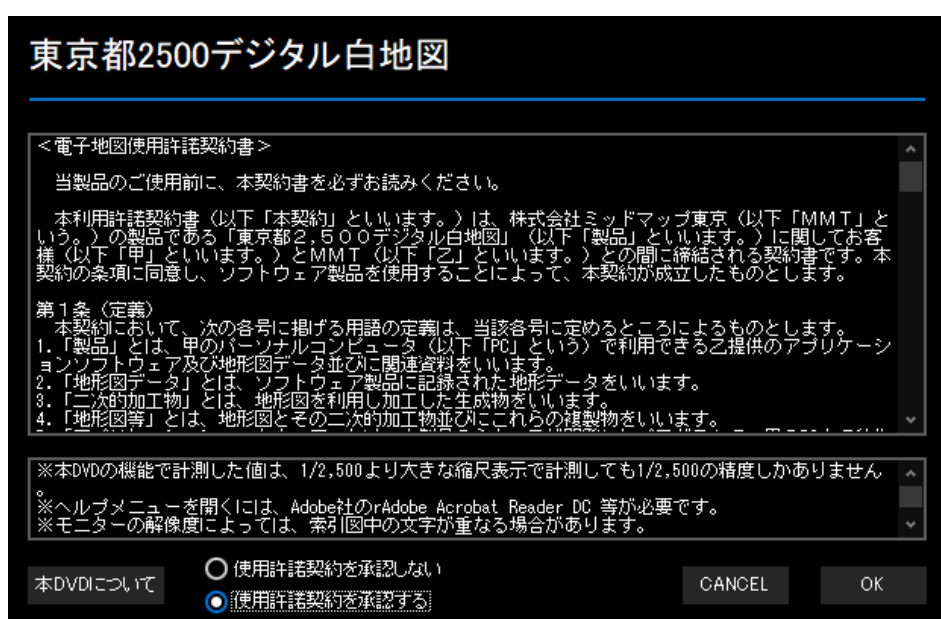
2 起動と画面構成

2.1 アプリの起動

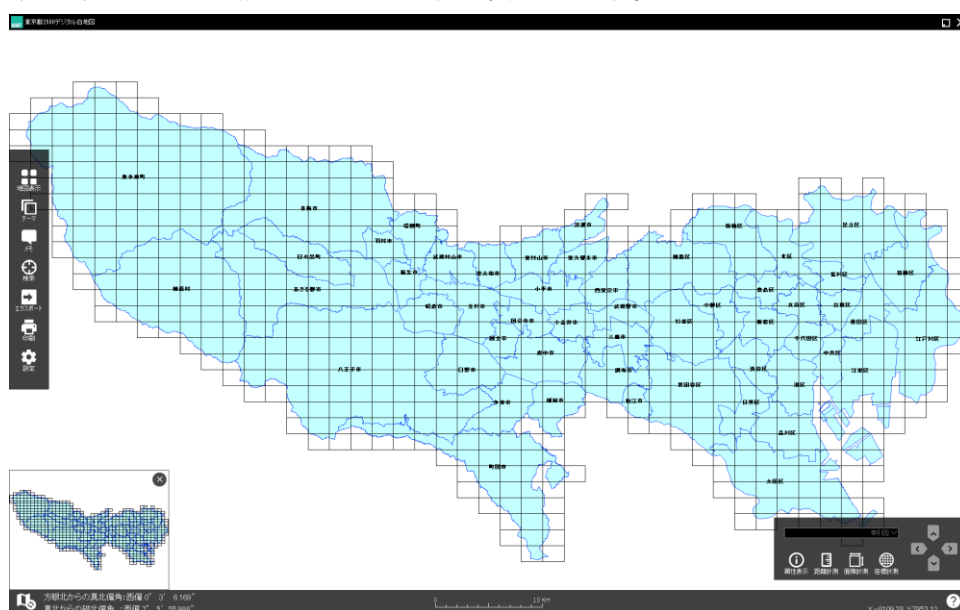
本 DVD を、お使いになられている PC の DVD ドライブにセットします。セット後、Windows の自動起動メニューが起動しますので、本プログラム(MMT DMViewer)のアイコンをクリックします。



起動後、使用許諾の確認ウィンドウが表示されます。「使用許諾契約を確認する」を選択することにより画面右下の「OK」ボタンがアクティブになります。「OK」ボタンを押すと使用許諾契約を承認した事になります。



「OK」ボタンをクリックすると、ビュー画面が表示され、東京都 23 区・多摩部の索引図が表示されます。地図上の任意の地点をクリックすると、クリックした地点の DM データ地図が表示されます。

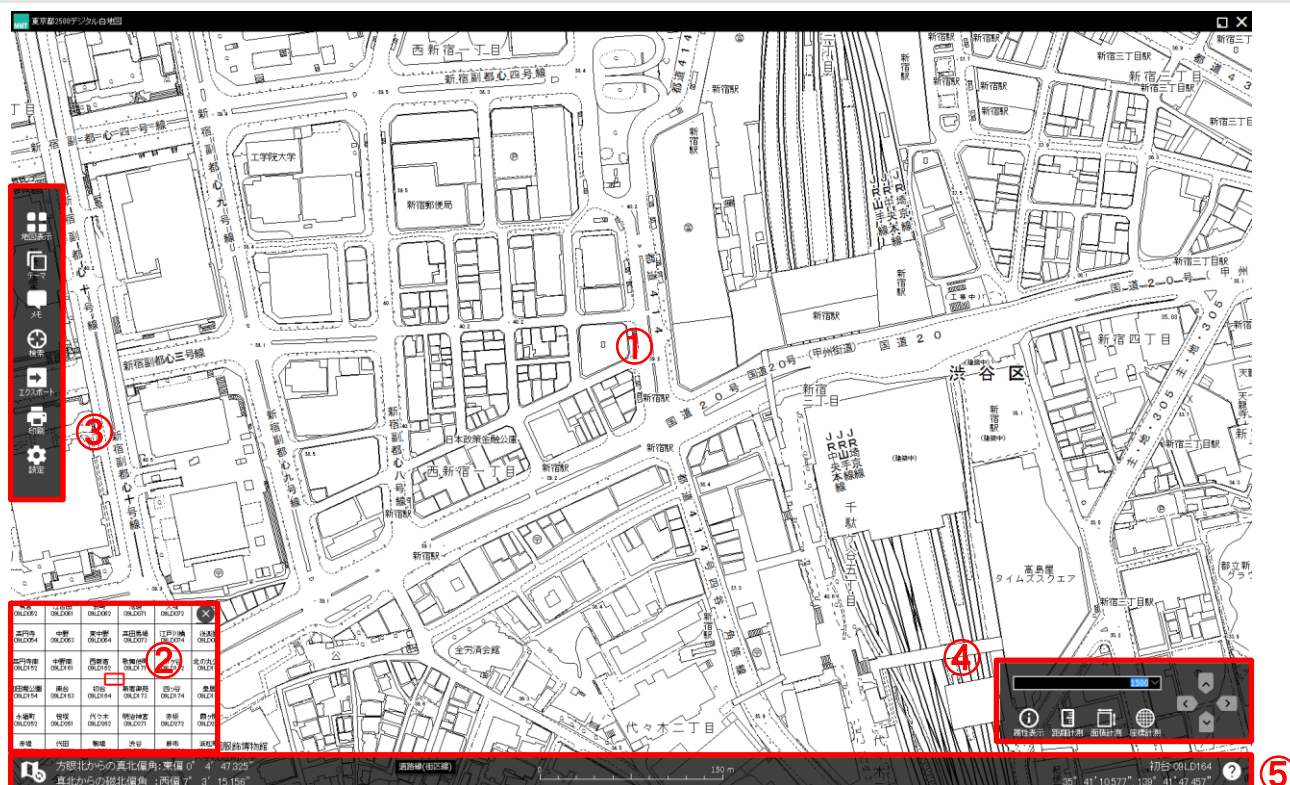


2.2 画面構成

2.2.1 主な画面構成について

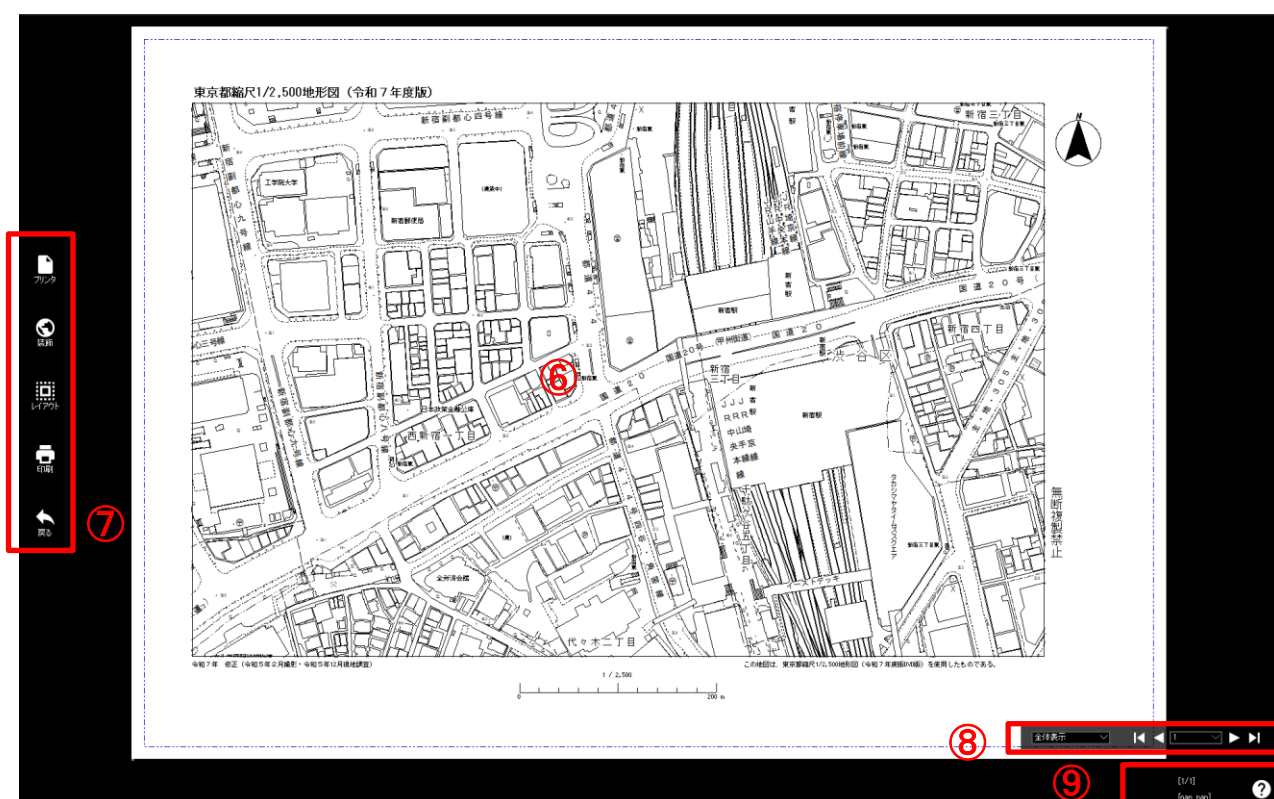
本ビューワは、地図表示画面(索引図および、DM データ表示)、印刷レイアウト表示の 2 画面から構成される、シンプルな構成となっています。詳細な機能説明は、「3 地図基本操作」以降で紹介し、本章では各画面とそのメニュー構成等を中心にみていきましょう。

地図画面



画面およびメニュー	説明
① 地図	索引図および、DM データを表示する地図エリア
② 概観図	表示する地図エリアに関する概観図を表示
③ 基本機能メニュー	ビューワの各種操作機能を集約したメインメニューを表示
④ 表示検索・計測メニュー	地図の拡大縮小や移動、計測といった頻繁に利用するメニューを表示
⑤ 図面情報表示・ヘルプ	表示中の地図に関し、図郭情報やマウスカーソル位置の座標情報等、ヘルプを表示

レイアウト画面



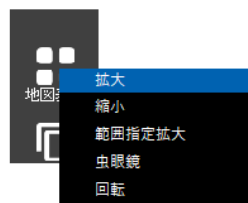
画面およびメニュー	説明
⑥ 印刷レイアウト	印刷時のレイアウト例を表示
⑦ 印刷関連	印刷関連のメニューを表示
⑧ 画面送り	分割印刷時のページ切り替え
⑨ レイアウト情報・ヘルプ	印刷画面内のエリア座標、画面ページ数を表示

3 地図基本操作

3.1 基本機能メニュー

3.1.1 地図表示⇒拡大

拡大メニューをクリックすると、現在の表示縮尺の 2 倍の縮尺に表示を拡大します。

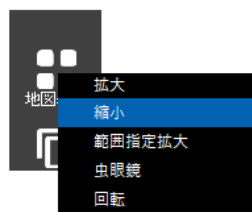


ポイント:

1/2,500 表示時に、拡大メニューをクリックすると、1/1,250 表示となります。

3.1.2 地図表示⇒縮小

縮小メニューをクリックすると、現在の表示縮尺の 2 倍の縮尺に表示を縮小します。



ポイント:

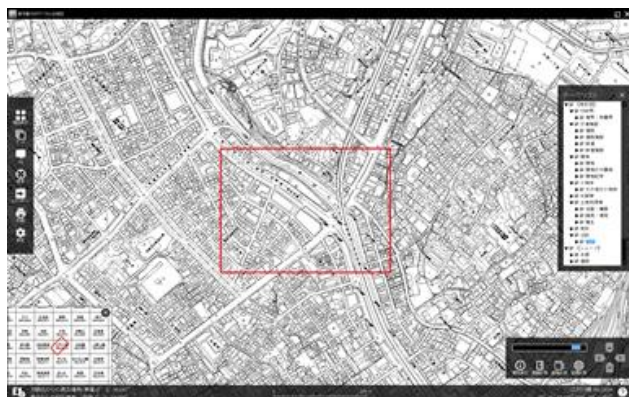
1/1,250 表示時に、縮小メニューをクリックすると、1/2,500 表示となります。

3.1.3 地図表示⇒範囲指定拡大

範囲指定拡大メニューをクリックし、地図上で任意のエリアを指定します。指定したエリアを中心に、現在の縮尺の 2 倍の縮尺に表示を拡大します(下図は、表示範囲がわかりやすいように赤色で強調表示しており、実際の表示とは異なります)。



範囲指定拡大:



1/2,500 表示



1/1,250 表示

ポイント:制限事項

範囲指定拡大の拡大操作の有効範囲は、1/500 までとなります。指定範囲が 1/500 を超える場合は、自動的に 1/500 縮尺での表示となります。

3.1.4 地図表示⇒虫眼鏡

虫眼鏡メニューをクリックすると、虫眼鏡モードとなり、マウスのカーソル周辺が虫眼鏡のように拡大表示となります。拡大中に、左クリック操作を繰り返すと、現在の縮尺の 2 倍の縮尺に表示を拡大します。拡大を繰り返すと、元々の等倍表示に戻りますが、左ボタンをクリックすると、再度拡大操作を繰り返すことができます。



虫眼鏡表示:



ポイント:

虫眼鏡表示モードを終了したい場合は、マウスの右ボタンをクリックします。

3.1.5 地図表示⇒回転

表示画面の中央を中心に指定角度にもとづき、地図を回転します。回転メニューをクリックし、地図の回転ウィンドウを表示します。回転したい角度を指定し、プレビューまたは OK をクリックします。



ポイント:

時計回りに 45 度回転したい場合は、角度指定欄に 45 と指定し、反時計回りに回転したい場合は、-45 と指定します。なお、360 以上の値が指定された場合、たとえば 540 度を指定した場合は、自動計算により、540 度-360 度として 180 度として取り扱います(反時計回りの場合も同様になります)。

3.2 テーマリスト

3.2.1 データ表示

地図上に表示される内容について、表示、非表示を切り替えます。「テーマ」ボタンをクリックすると、画面右側に、ビューワで表示可能な各種情報(テーマ)のリストが表示されます。

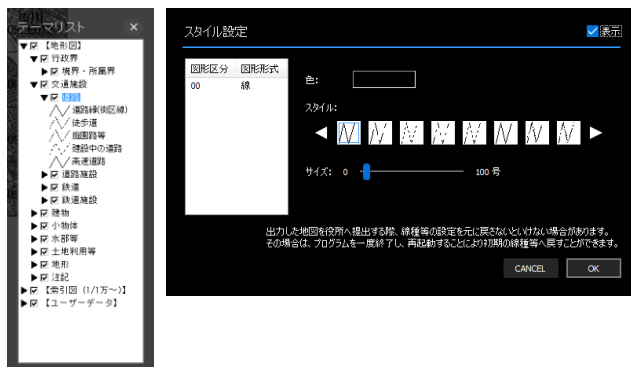


リスト中の各テーマ項目名の左側にある▼をクリックすると、各項目に付随したテーマ名が表示されます。各テーマ名の左側に表示されているチェックボックス(☑)をクリックすることで表示の各テーマの表示または非表示となります。

ポイント:

初期状態では、図郭線が表示されています。不要な場合は、【索引図(1/1 万～)】項目の図郭線のチェックを外してください。

テーマのスタイル設定



線種、色、線の太さを変更したい場合は、変更したい地形項目をクリックしてください、スタイル設定メニューが表示されます。この機能を使うことにより、線種等を変更することができます。

また注記（文字情報）は、同様にスタイル設定メニューにてテキスト（TEXT）の色を変更することができます。

ポイント:

変更した線種等は、「東京都縮尺 1/2,500 地形図」の図式規程と異なるため、役所等へ提出する地図としては適さない場合があります。元の線種等に戻す場合は、プログラムを一度終了することにより、初期設定に戻ります。終了の前には、必ず重要なユーザデータは保存するようにしましょう。

【注記の「諸地、場地」について】

注記の「諸地、場地」の一部は文字を線で描画しているものがあります。この理由によりテーマリストには線記号が表示されていますが、スタイル設定メニューでは“線”と“注記”の両方を設定することができます。色を変更する場合には、“線”と“注記”の両方の色を変更する必要があります。また線の太さは変更しないようにしてください。

3.3 メモ

地図上に任意の形状でデータをとることができます。データは、ユーザデータとして管理し、外部ファイルに出力したり、必要に応じて過去に作ったデータを再インポートしたりすることができます。プロジェクト単位で出力管理をし、情報を共有することができます。



3.3.1 メモ共通機能

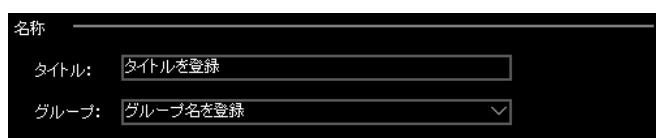
表示チェック

作成・登録したデータを表示するかどうかを設定します。チェック状態で表示、チェックを外した状態で非表示となります。



タイトル設定およびグループ設定

タイトルを登録すると、各図形データの表題として表示されます。ユーザデータ一覧を表示した際に、任意のデータを見つけやすくなります。

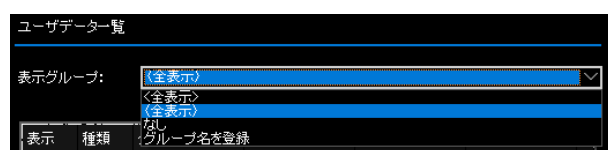


タイトルおよびグループ登録欄



ユーザデータ一覧

グループを登録すると、各図形データをグループ管理できます。プロジェクト単位等、任意のグループごとに分けておくと、ユーザデータ一覧を表示する際に、グループ名で登録内容を絞り込むことができます。



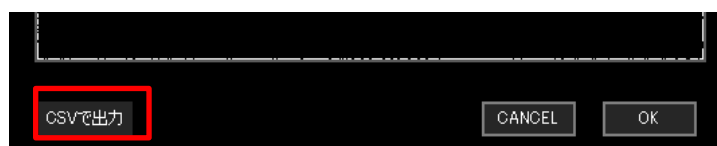
ユーザデータ一覧での表示例



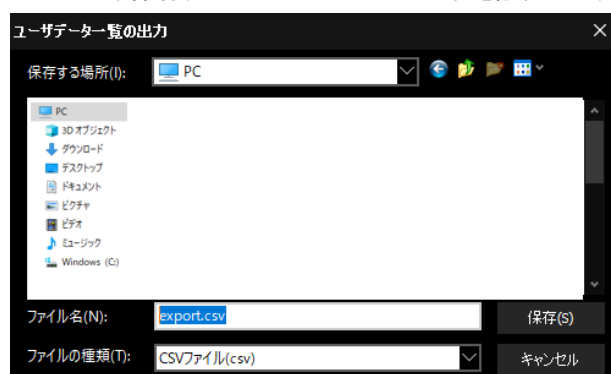
グループ名での絞り込み例

ユーザデータの CSV 出力

ユーザデータとして登録されているデータ内容を、CSV ファイルに出力することができます。ユーザデータ一覧画面で、「CSV で出力」ボタンをクリックしてください。



保存先設定ダイアログが表示されるので、保存先フォルダと出力ファイル名を設定します。

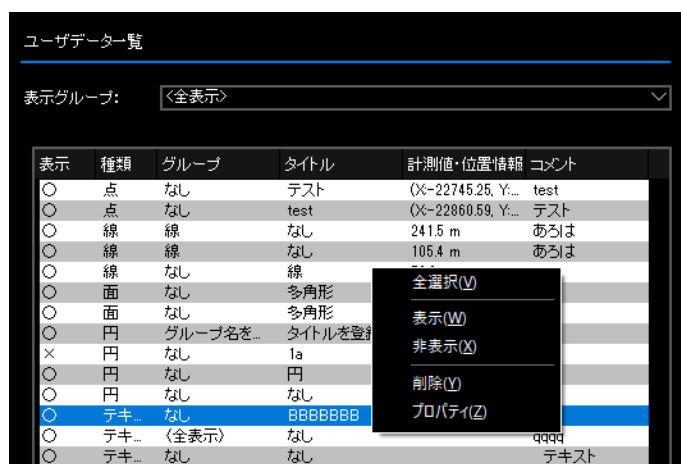


出力された CSV ファイルは、マイクロソフト社の EXCEL やテキストエディタ等で内容を確認することができます。

	A	B	C	D	E
1	種類	グループ	タイトル	計測値・位置情報	コメント・メモ
2	シンボル	A班管理	シンボルメモ	(35° 42' 22.529", 139° 48' 35.130")	テキスト登録
3	シンボル	なし	なし	(35° 42' 21.597", 139° 48' 35.89")	
4	線	A班管理	線メモ	19.0 m	
5	面	B班管理	多角形メモ	475.3 m ²	テキスト登録
6	テキストボックス	なし	なし		テキストメモ
7	吹き出し	なし	なし		吹き出しメモ

ユーザデータの一括処理

ユーザデータを個別に設定・削除していくのは、非常に手間がかかる作業となります。ユーザデータ一覧表示にて、任意のデータを選択し、マウスの右ボタンをクリックすると一括設定用のメニューが表示されます。この機能を使うことで効率よく表示・非表示の切り替えやプロパティの設定ができます。



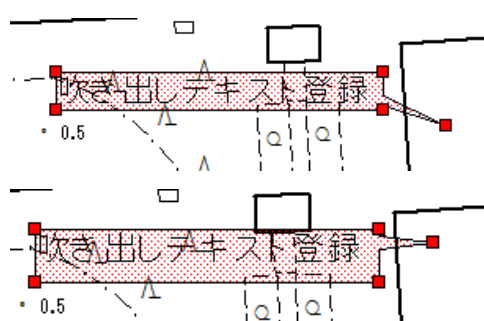
各データの編集と削除

登録したデータは、繰り返し編集を行うことができます。編集を行いたいデータ上でマウスの右クリックをします。図形の編集、削除、プロパティ(設定内容)変更に関するメニューが表示されますので、任意の操作を行います。

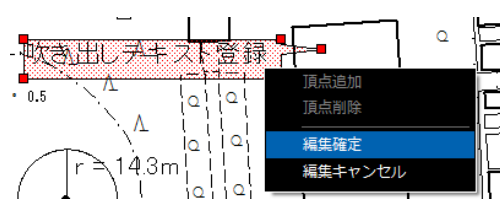
簡単に、編集内容を見てみましょう。



編集したいデータ上でマウスの右ボタンをクリックすると、編集メニューが表示されます。編集は図形の形状編集、削除は図形の削除、プロパティは図形の登録内容や表示スタイルの変更を行います。



図形の編集をクリックすると、下図のように図形の編集可能部分に赤いハンドルが表示されます。



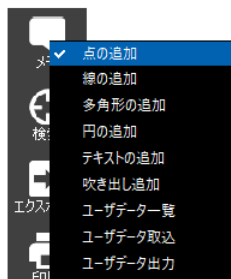
編集内容を確定したいときは、データ上で再度、マウスの右クリックをし、「編集確定」をクリックします。編集内容を破棄したい場合は、「編集キャンセル」をクリックします。

編集のプロパティをクリックすると、再度編集内容を変更することができます。

3.3.2 点の追加

点の追加メニューを選択すると、点の追加モードに切り替わります。所定の記号シンボルもしくは、地図記号を配置する形で点の追加を行います。タイトルやグループ設定、対応するテキストデータやスタイルを登録し、最後に OK をクリックすると、選択した場所にデータが登録されます。

▼シンボル追加メニュー



▼点のデータ表示例



ユーザーデータ: 点のプロパティ 表示

位置 (X=33705.15, Y=13032.39)

名称: _____

タイトル: シンボル

グループ: なし

シンボル表記

スタイル: **ビットマップ** 地図記号

色: サイズ: 16 Pt

文言表記

☒ タイトル表示

フォント: MS P明朝 サイズ: 1 16 Pt

シンボル表記

シンボル:

コメント

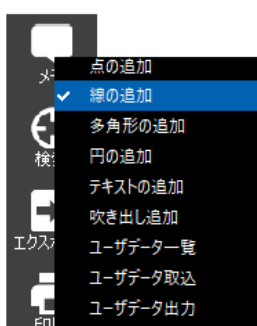
コメント:

CANCEL OK

3.3.3 線の追加

線状のデータを登録します。道路や配管等、距離計測を要するようなデータを残したい場合に利用することができます。タイトルやグループ設定、対応するテキストデータやスタイルを登録し、最後に OK をクリックすると、選択した場所にデータが登録されます。

▼線の追加



▼線データ表示例



ユーザーデータ: 線のプロパティ 表示

距離 310.3 m

名称: _____

タイトル: 線

グループ: なし

シンボル表記

スタイル:

始点: 終点:

色: サイズ: 1 号

文言表記

☒ タイトル表示 ☒ 距離表示

フォント: MS Pゴシック サイズ: 14 Pt

コメント

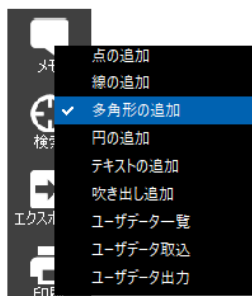
コメント:

CANCEL OK

3.3.4 多角形の追加

多角形状のデータを登録します。敷地等面積計測を要するようなデータを残したい場合に利用することができます。タイトルやグループ設定、対応するテキストデータやスタイルを登録し、最後に OK をクリックすると、選択した場所にデータが登録されます。

▼多角形の追加



▼多角形データ表示例



ユーザーデータ:多角形のプロパティ 表示

面積 24095.0 m²

名称: _____

タイトル:

グループ:

シンボル表記

スタイル: 色:

枠線表記

スタイル: 色: サイズ: 号

文言表記

☒ タイトル表示

☒ 面積表示

フォント: サイズ: Pt

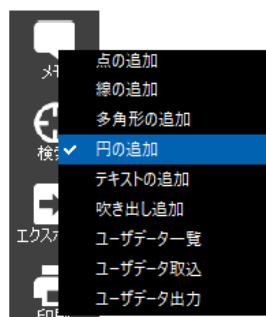
コメント:

CANCEL OK

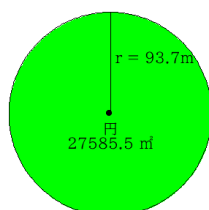
3.3.5 円の追加

円状のデータを登録します。敷地等面積計測を要するようなデータを残したい場合に利用することができます。タイトルやグループ設定、対応するテキストデータやスタイルを登録し、最後に OK をクリックすると、選択した場所にデータが登録されます。

▼円の追加



▼円データ表示例



ユーザーデータ:円のプロパティ 表示

面積 27585.6 m²

名称: _____

タイトル:

グループ:

シンボル表記

スタイル: 色: 半径:

枠線表記

スタイル: 色: サイズ: 号

中心点表記

☒ 中心点表示

スタイル: 色: サイズ: Pt

文言表記

☒ タイトル表示

☒ 面積表示

☒ 半径表示

フォント: サイズ: Pt

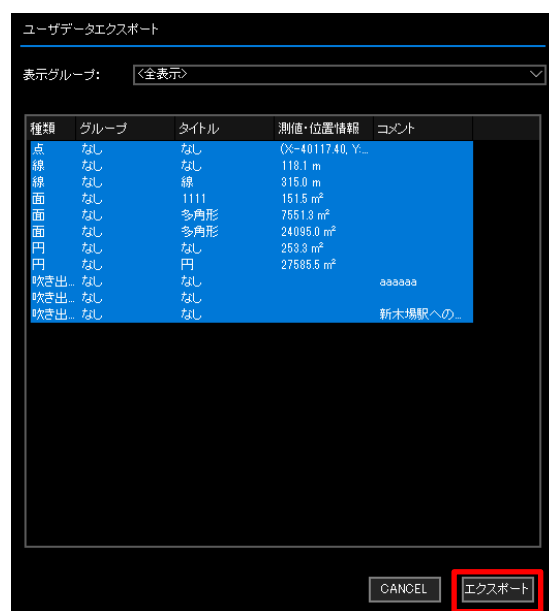
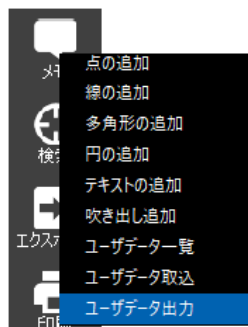
コメント:

CANCEL OK

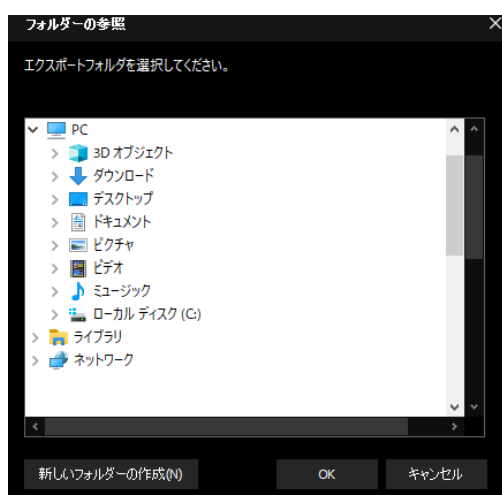
3.3.8 ユーザデータ出力

ビューワ内で登録したデータを、外部データとして出力します。

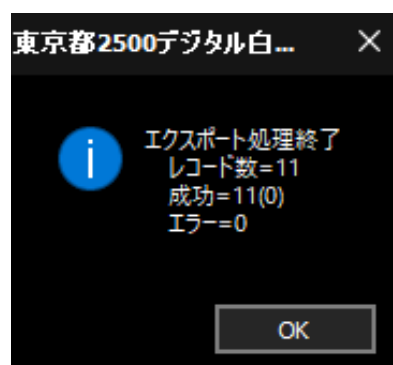
▼ユーザデータ出力



出力したいデータを選択し、「エクスポート」ボタンをクリックします。



出力データの保存先フォルダを選択します。



出力が完了すると、出力結果に関するレポートが表示されます。OK をクリックし、ダイアログを閉じます。ここで出力されたデータは、ユーザデータ取込機能によって、ビューワに取り込むことができます。

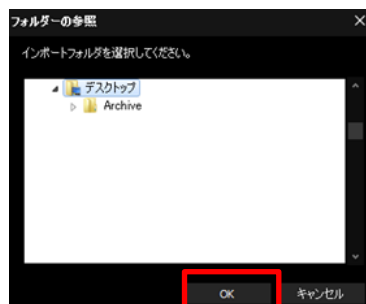
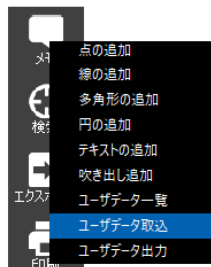
ポイント:

本機能で出力するデータは、DM データビューワ専用の独自 Shape 形式となります。

3.3.9 ユーザデータ取込

以前に登録済みの外部データを再登録したい場合や、プロジェクト内で管理しているデータデータを共有したい場合に、本機能を利用して、データを取込します。

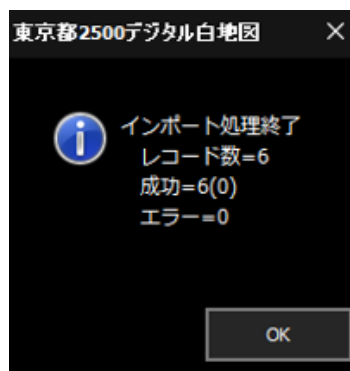
▼ユーザデータ取込



ユーザデータ取込を選択するとユーザデータ保存先確認が表示されます。ユーザデータが保存されているフォルダを指定して、「OK」ボタンをクリックします。



指定したディレクトリに含まれるユーザデータが一覧に表示されます。取り込みたいデータを選択し、「インポート」ボタンをクリックします。



取り込みが完了すると、取り込み結果に関するレポートが表示されます。OK をクリックし、ダイアログを閉じます。最後にユーザデータの取込ウィンドウを閉じると、地図上に取り込んだデータ情報が表示されます。

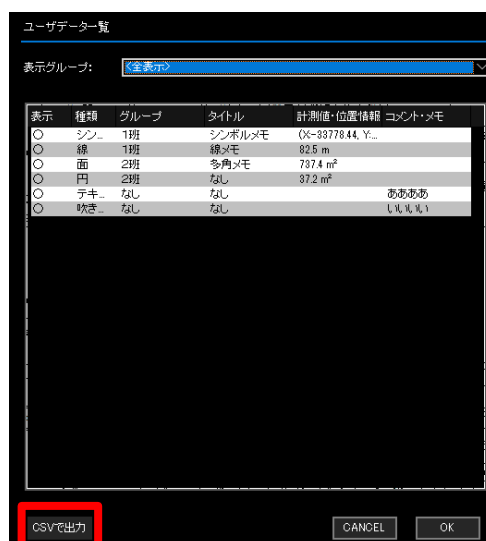
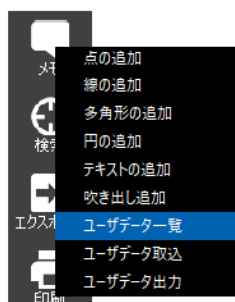
ポイント:

本機能で取り込むことができるデータは、DM データビューにて出力された独自 Shape 形式のみとなります。

3.3.10 ユーザデータ一覧

登録したユーザデータの一覧を表示します。表示グループリストにて、表示したいデータをグループごとにフィルタリングして表示することができます。また、「CSVで出力」ボタンをクリックすることで、リストに表示している内容を CSV ファイルに出力することができます。出力した CSV ファイルは、Microsoft Excel 等の表計算ソフトにて編集することができます（「3.3.1 メモ共通機能内ユーザデータの CSV 出力」参照）。

▼ユーザデータ一覧

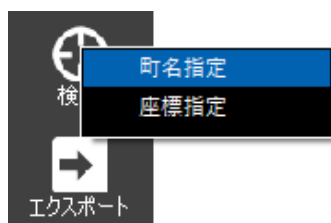


3.4 検索

町名および座標による位置検索を行います。検索結果の位置を中心に地図を表示します。

3.4.1 町名検索

任意の町名により、地図上の位置を検索します。町名指定メニューをクリックすると、町名リストが画面右側に表示されます（座標指定のタイトル下部の町名指定リンクをクリックすることでもメニューが切り替えられます）。検索したい町名を選択し、最後に OK をクリックすると、選択した字丁目を中心に地図を表示します。



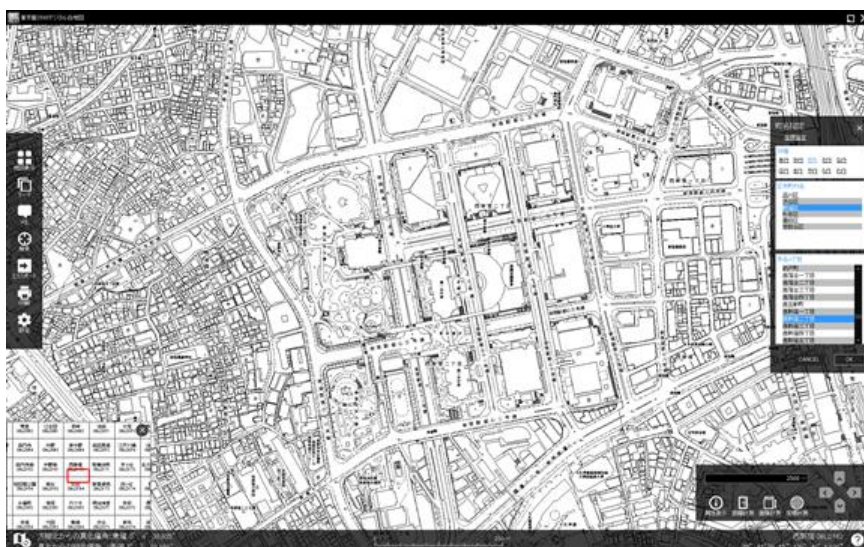
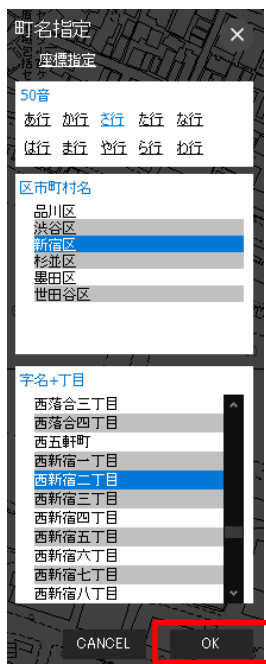
下記は、東京都庁（東京都新宿区西新宿 2 丁目）を町名検索により表示した例です。操作手順は、次のとおりです。

Step1: 50 音検索にて、「さ行」を指定（「さ行」に属する区市町村名が区市町村名欄にリストされる）。

Step2: Step1 で検索された候補リストから、新宿区を指定（新宿区内の字名 + 町名が字名 + 町名欄にリストされる）。

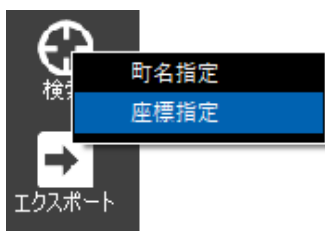
Step3: Step2 で検索された候補リストから、西新宿二丁目を選択し、「OK」ボタンをクリックする、もしくは対象丁目名をダブルクリックすると、任意の地点を中心に地図表示が変更します。

▼座標指定



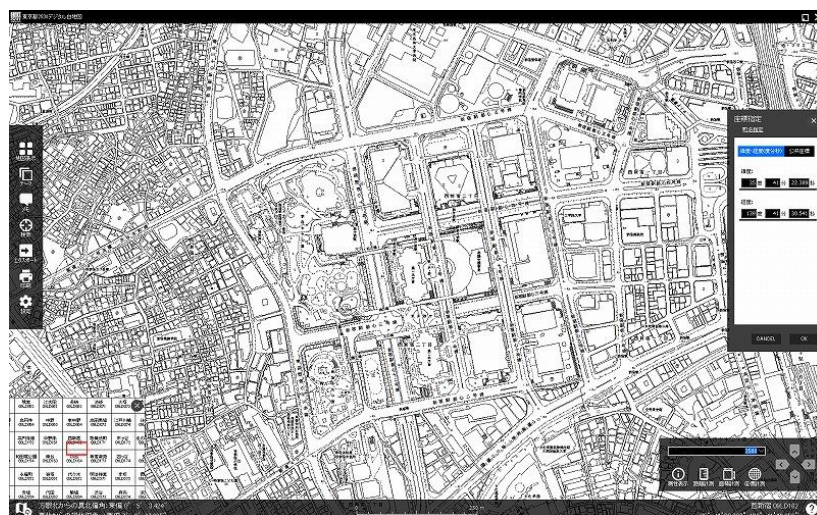
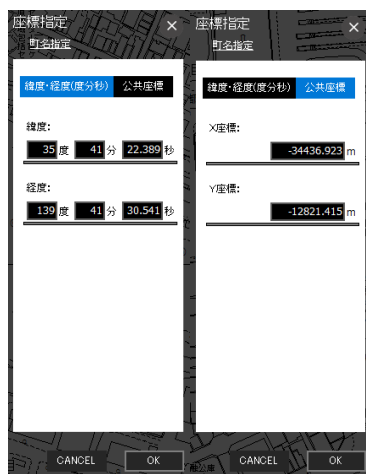
3.4.2 座標検索

任意の座標により、地図上の位置を検索します。座標指定メニューをクリックすると、座標指定用リストが画面右側に表示されます(町名指定の下タイトル下部にある座標指定リンクをクリックすることでもメニューが切り替えられます)。検索したい座標値を入力し、最後に OK をクリックすると、選択した位置を中心に地図を表示します。



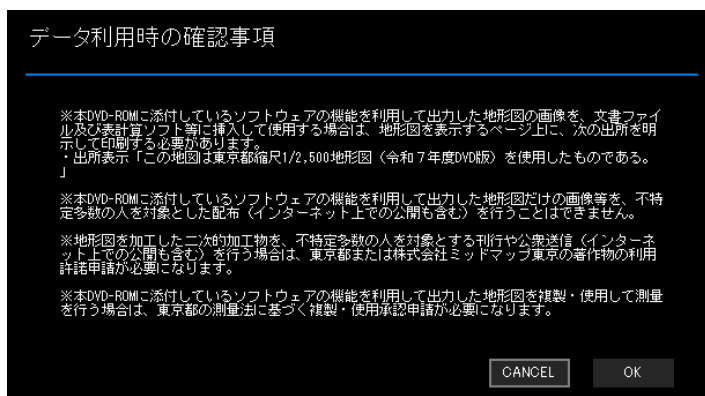
座標指定は、緯度経度(度分秒)、または公共座標での指定が可能です。下図は、緯度 35 度 41 分 22.389 秒、経度 139 度 41 分 30.541 秒にて東京都庁周辺を検索・表示した例となります。

▼座標指定

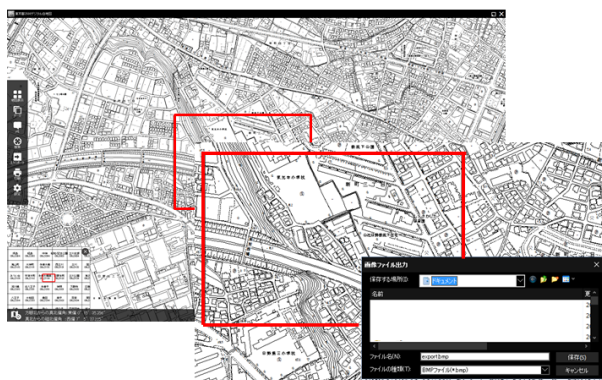


3.5 エクスポート

表示画面中の地図情報を、静止画(BMP 形式・PNG 形式)にてキャプチャするための機能となります。「エクスポート」ボタンをクリックすると、データ利用時の確認事項が表示されます。



OK をクリックし、地図上の任意のエリアを選択します（下図では、赤色で強調表示）。エリアを選択すると、画像ファイルの出力場所を指定するダイアログが表示されます。出力したいフォルダ名を選択し、任意のファイル名を指定して、保存ボタンをクリックすると、指定したパスに画像が保存されます。



3.6 印刷メニュー

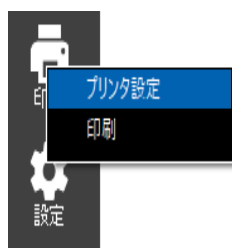
「印刷」ボタンを押すと、印刷メニューを表示します。印刷レイアウトの設定等、オリジナルのレイアウト設定が表示できます。



3.6.1 プリント設定

印刷メニューから「プリント設定」を表示します。通常の Windows の印刷レイアウト設定と同じ内容となります。

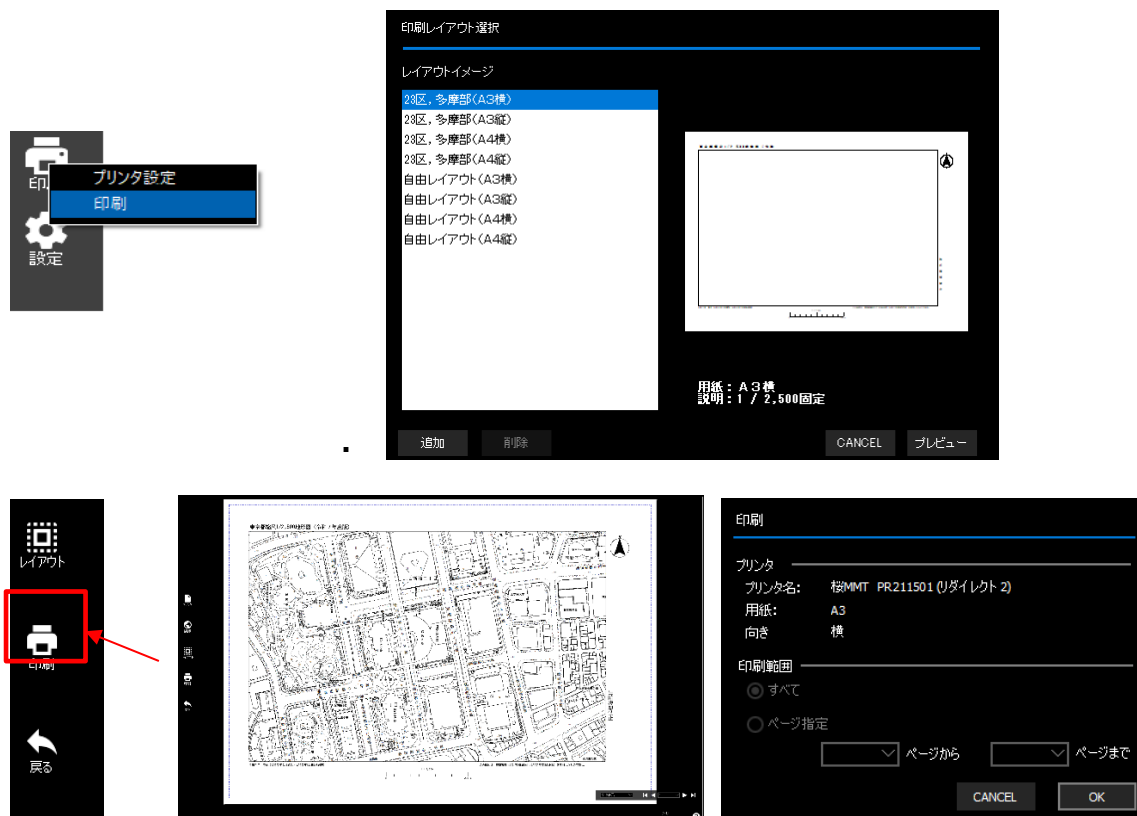
▼プリント設定



3.6.2 印刷

印刷メニューから「印刷」を選択すると、印刷レイアウト画面が表示されます。プレビューの確認後、画面左側の「印刷」ボタンをクリックすると、印刷ダイアログが表示されます。プリンタおよび用紙サイズを最終確認し、「印刷」ボタンをクリックすると、所定のプリンタにて印刷ができます。

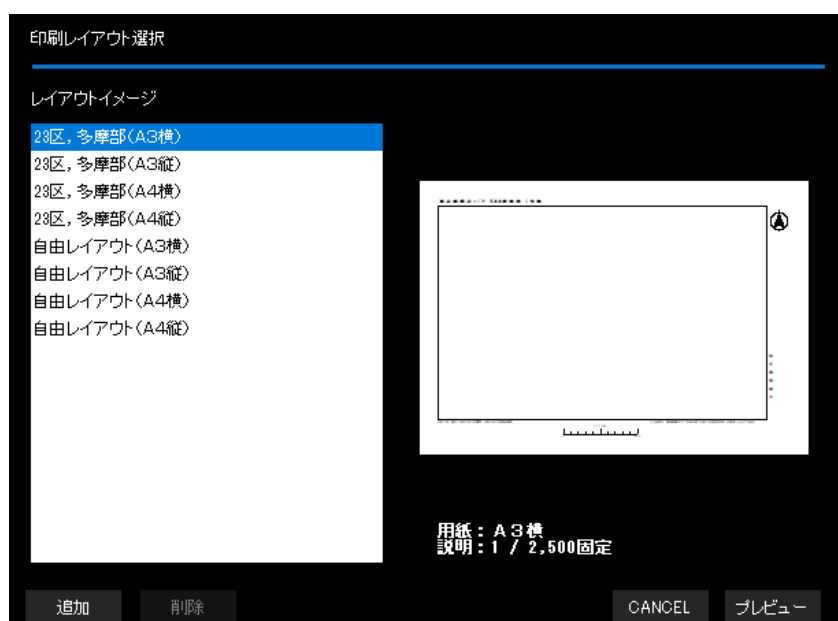
▼印刷



3.6.3 印刷レイアウト

印刷時のレイアウト選択を行います。印刷メニューから印刷レイアウトを選択し、「OK」ボタンをクリックします。任意のレイアウトを選択し、「プレビュー」ボタンをクリックすることで、印刷イメージを表示することができます。

▼印刷レイアウト



刷レビュー

印刷や分割印刷の各段階で、印刷レビューを表示することができます。



レイアウトイメージ

レイアウトイメージは、4 種類の定型様式と 4 種類自由レイアウトの様式からなっています。自由レイアウト以外は、1/2,500 定型形式で表示いたします。定型様式を利用の際は、地域により作業履歴表示が異なるため、利用地域のレイアウトを指定してください。

レイアウト	作業履歴表示
23区、多摩部(固定レイアウト) 大きさ(A3・A4) 各々縦・横	令和7年修正(令和5年2月撮影、令和5年12月現地調査) タイトル(東京都縮尺 1/2,500 地形図(令和7年度))、縮尺 (1/2,500)
自由レイアウト 大きさ(A3・A4) 各々縦・横	ラベル(位置、スタイル、色、サイズ)、地図(範囲指定、縮尺)、 方位記号(位置、スタイル)、スケール(位置、スタイル、文字サイズ)等を独自に配置・設定します。

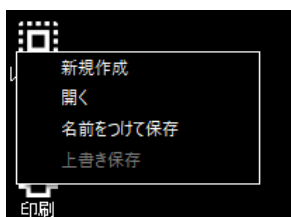
ポイント:

印刷レイアウトは任意のレイアウトを構成できます。印刷レイアウトの作成機能にて設定ファイルを作成の上、印刷レイアウトの追加機能から、レイアウトの追加を行います。なお、デフォルトで提供されるサンプルレイアウトについては、本メニュー上からの削除できません。

印刷レイアウト

印刷レイアウトは、印刷画面から行います。印刷メニューから印刷画面を開く、または印刷プレビュー画面を表示します。画面左側にある「レイアウト」ボタンをクリックし、レイアウト作成メニューを表示し、新規作成を表示します。

▼印刷レイアウト



機能	内容
新規作成	新規レイアウトを作成します。
開く	既存のレイアウトファイル(.pri)を読み、再編集を行います。
名前をつけて保存	作成したレイアウトを、名前をつけて保存します。
上書き保存	編集集中のファイルを上書き保存します。

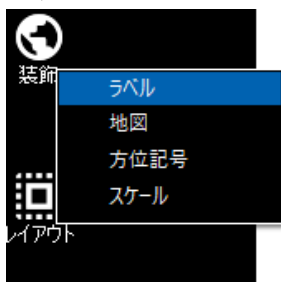
ポイント:

デフォルトで提供されるサンプルレイアウトについては、装飾処理、上書き保存等の処理はできません。

印刷レイアウトの作成(自由レイアウト)

まず、自由レイアウトからプレビューを開き権利項目等を記載するためのラベルを配置します。

▼装飾メニューからラベルを選択



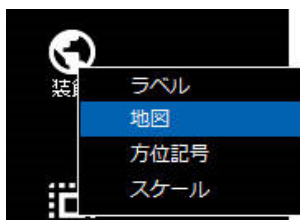
▼ラベルの配置



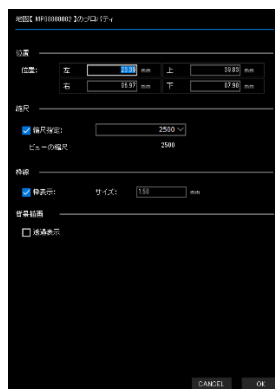
ラベルを配置するエリアをマウスで選択します。選択後、プロパティウィンドウが表示されるので、配置箇所や、ラベルフォント、色について、設定を行います。

次に、地図を配置します。

▼装飾メニューから地図を選択



▼地図の配置

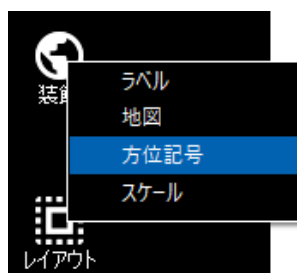


地図を配置するエリアをマウスで選択します。選択後、プロパティウィンドウが表示されるので、サイズや、表示縮尺等について、設定を行います。



次に、方位記号を配置します。

▼装飾メニューから方位記号を選択



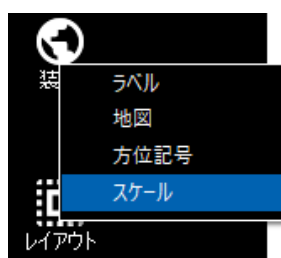
▼方位記号の配置



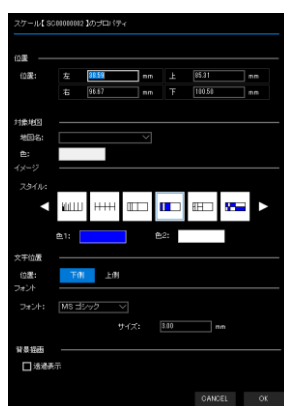
方位記号を配置するエリアをマウスで選択します。選択後、プロパティウィンドウが表示されるので、サイズや、利用したい方位記号シンボルについて、設定を行います。

次に、スケールを配置します。

▼装飾メニューからスケールを選択



▼スケールの配置



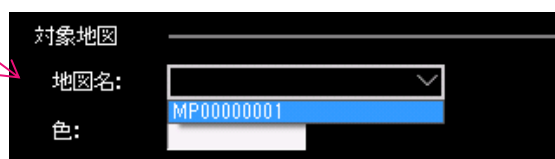
スケールを配置するエリアをマウスで選択します。選択後、プロパティウィンドウが表示されるので、サイズや、利用したいスケールシンボルについて、設定を行います。

なお、スケールの標尺数字の大きさによっては、正しく表示されない場合がありますため、設定後、スケール表示枠の大きさ等を調整する必要があります。



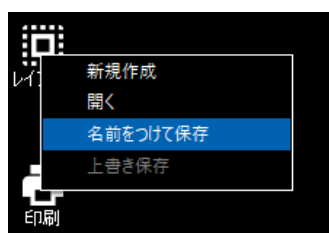
ポイント:

地図の表示縮尺とスケールを連動させるためには、スケールのプロパティを開き、【対象地図】の『地図名』のプルダウンをクリックし、当該地図に設定しておく必要があります。

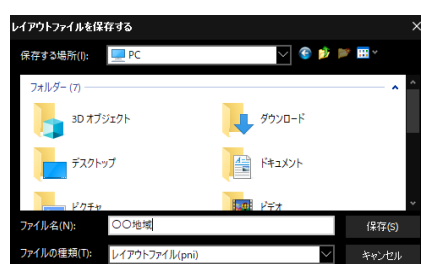


最後に、作成したレイアウトに名前をつけて保存します。

▼レイアウトメニューから名前をつけて保存を選択



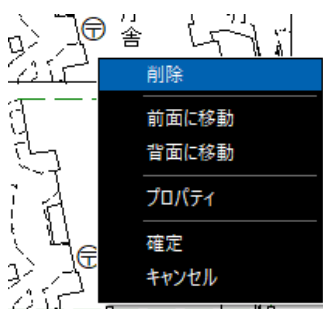
▼名前をつけて保存



フレームを配置するエリアをマウスで選択します。選択後、プロパティウィンドウが表示されるので、サイズや、フレームのアウトライン枠について、設定を行います。

レイアウト内装飾メニューの共通操作

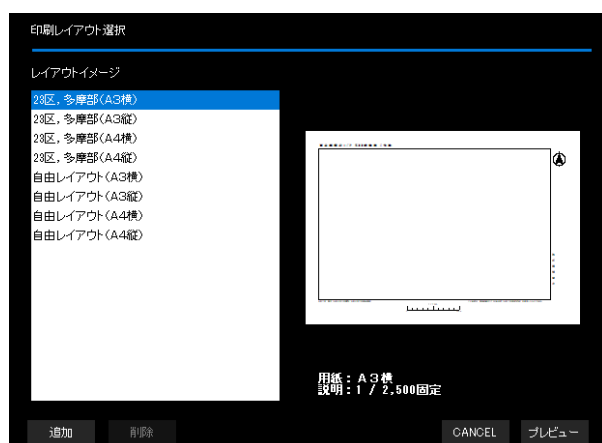
▼装飾：共通右クリックメニュー



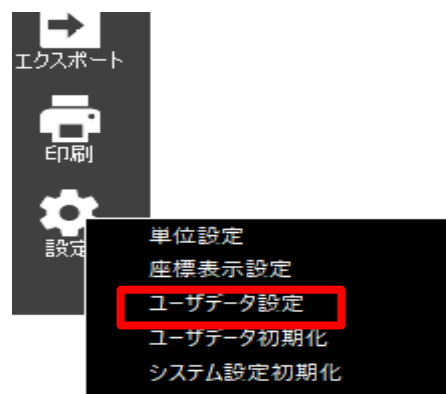
機能	内容
削除	右クリック選択した任意の装飾オブジェクトを削除します。
前面に移動	装飾オブジェクトに重なりがある場合、選択オブジェクトを前面に移動します。
背面に移動	装飾オブジェクトに重なりがある場合、選択オブジェクトを背面に移動します。
プロパティ	右クリック選択したオブジェクトのプロパティを再表示し、プロパティの編集を行います。
確定	変更内容を確定します。
キャンセル	右クリックメニューにて設定した内容をキャンセルします。

印刷レイアウト選択メニューの印刷レイアウトが表示されない場合、システム設定初期化の操作が必要です。

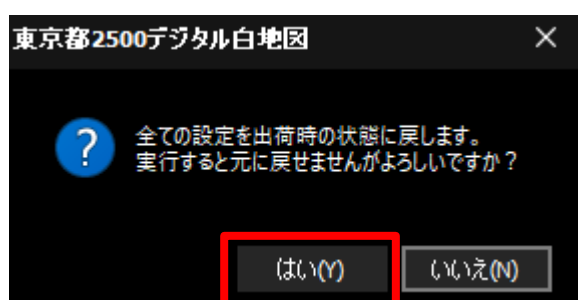
▼印刷レイアウト選択画面



▼システム設定初期化の操作



▼設定ボタンからシステム設定初期化を選択し、「はい」をクリック



※このシステム設定初期化は、DVD アプリケーションの初期化であり、OS の初期化では、ありません。

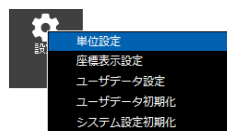
3.7 設定

ビューワプログラム内で利用する、各種項目について設定、初期化を行います。「設定」ボタンをクリックすると、設定メニューが表示されます。



3.7.1 単位設定

ビューワプログラム内で利用する、各種表示単位を設定します。設定可能な内容は、距離、面積、緯度経度の表示単位となります。



単位設定

距離

cm **m** Km 尺 間 ヤード マイル

面積

cm² **m²** km² ha 坪 エーカー Sq.mi

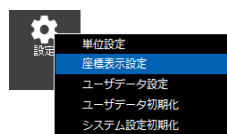
緯度・経度

° ' " 度分秒 度(十進法)

CANCEL OK

3.7.2 座標表示設定

ビューワプログラム内で利用する、座標表示形式を設定します。公共座標または、経緯度による表示が選択できます。



座標表示設定

表示様式

公共座標 緯度・経度

CANCEL OK

3.7.3 ユーザデータ設定

点やライン、多角形、円等のユーザデータの表示に関する基本設定をカスタマイズします。設定可能な内容は、各データによって異なります。



各項目の設定内容は下記の通りです。

種別	設定内容
点	スタイル(色、サイズ)および文言表記(フォント)の様式を指定します。
線	スタイル(スタイル、色、サイズ等)および文言表記(フォント)の様式を指定します。
多角形	スタイル(塗り、色)および枠線表記(スタイル、色、サイズ)、文言表記(タイトル表示: 面積表示、フォント)の様式を指定します。
円	スタイル(塗り、色)および枠線表記(スタイル、色、サイズ)、中心点表記(スタイル、色、サイズ)、文言表記(タイトル表示: 面積表示や半径表記、フォント)の様式を指定します。
テキスト	スタイル(塗り、色)および枠線表記(スタイル、色、サイズ)、文言表記(フォント)の様式を指定します。
吹き出し	スタイル(塗り、色)および枠線表記(スタイル、色、サイズ)、文言表記(フォント)の様式を指定します。

ポイント:

ユーザデータ設定ダイアログの左下にある「規定値に戻す」ボタンをクリックすると、ユーザデータに関する全ての設定項目を初期化します。

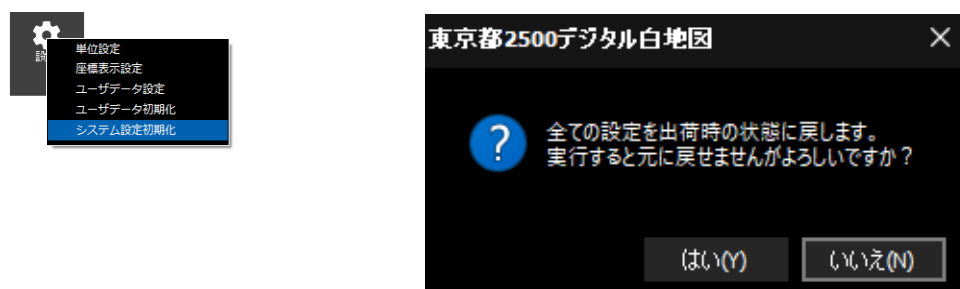
3.7.4 ユーザデータ初期化

点やライン、多角形、円等の登録済みのユーザデータを全てクリアします。「はい(Y)」を選択すると、ユーザデータを初期の状態に戻しクリアします。



3.7.5 システム設定初期化

システムの設定を初期状態とします。「はい(Y)」を選択すると、全ての設定を出荷時の状態に戻します。



4 表示検索・計測メニュー

4.1 地図表示検索・計測メニュー

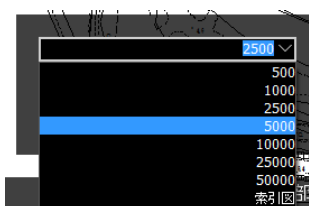
地図画面右下にあるメニューは、地図の拡大、縮小、移動、各種計測にかかる機能を集約したものととなります。



ボタン	内容	備考
① 縮尺切替	縮尺を切り替えます。	対応縮尺は、1/500、1/1,000、1/2,500、1/5,000、1/10,000、1/25,000、1/50,000、索引図となります。
② 地図移動	それぞれのボタンをクリックすることで、東西南北各方向に地図を移動します。	
③ 属性表示	DM データの各種属性を表示します。	詳細は、属性表示:28 ページ 4.1.2 参照
④ 距離計測	距離計測モードの切り替えを行います。	詳細は、属性表示:29 ページ 4.1.3 参照
⑤ 面積計測	面積計測モードの切り替えを行います。	詳細は、面積計測:29 ページ 4.1.44 参照
⑥ 座標計測	座標計測モードの切り替えを行います。	詳細は、座標計測:30 ページ 4.1.5 参照

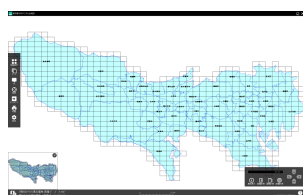
4.1.1 縮尺切り替え

縮尺表示を切り替えます。対応縮尺は、1/500、1/1,000、1/2,500、1/5,000、1/10,000、1/25,000、1/50,000、索引図となります。なお、本プログラムでは 1/500～1/50,000 の範囲外での任意の縮尺値の設定はサポートしていません。そのため、1/300 等、上記対応縮尺外での任意縮尺値の表示はできません。

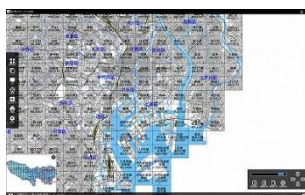


ポイント:

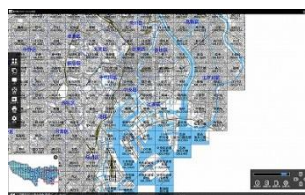
各縮尺での表示例は下記の通りです。



索引図



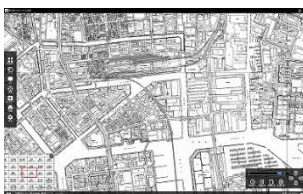
1/50,000



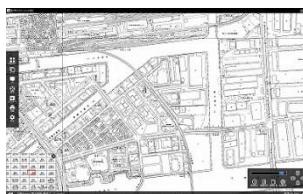
1/25,000



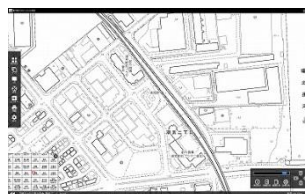
1/10,000



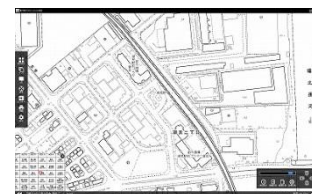
1/5,000



1/2,500



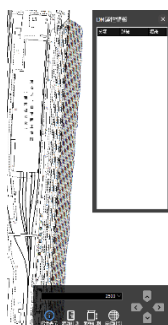
1/1,000



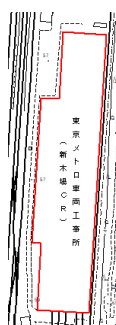
1/500

4.1.2 属性表示

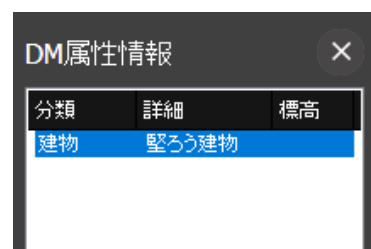
地図内の各地物の属性を表示します。属性表示アイコンをクリックすると、属性情報表示ウィンドウが表示されます。図上で、確認したい地物をマウスでクリックすることで、クリックした対象の地物の属性をリスト表示します。



属性情報表示
ウィンドウの表示



図上で任意の地点をクリック



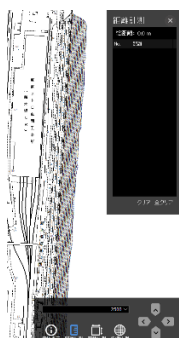
リスト表示

ポイント:

属性表示は、右クリックで終了となります。

4.1.3 距離計測

図上での距離計測を行います。距離計測アイコンをクリックすると、距離情報表示ウィンドウが表示されます。図上で、計測したい線状の頂点に当たる部分をマウスでクリックすることで、距離の計測ができます。計測した距離情報は、距離情報ウィンドウ上にリスト表示します。全ての情報を削除したい場合は、全クリアをクリックします。



距離情報表示
ウィンドウの表示



図上での計測



リスト表示



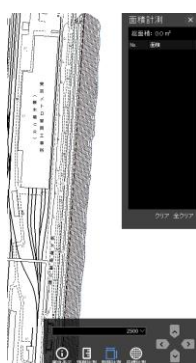
クリア操作

ポイント:

距離計測は、右クリックで終了となります。

4.1.4 面積計測

図上での面積計測を行います。面積計測アイコンをクリックすると、面積情報表示ウィンドウが表示されます。図上で、計測したい形状の頂点に当たる部分をマウスでクリックすることで、面積の計測ができます。計測した情報は、距離情報ウィンドウ上にリスト表示します。計測した面積情報は、面積情報ウィンドウ上にリスト表示します。全ての情報を削除したい場合は、全クリアをクリックします。



面積情報表示
ウィンドウの表示



図上での計測



リスト表示



クリア操作

ポイント:

面積計測は、右クリックで終了となります。

4.1.5 座標計測

図上での座標計測を行います。座標計測アイコンをクリックすると、座標情報表示ウィンドウが表示されます。図上で、計測したい地点をマウスでクリックすることで、座標の計測ができます。なお、座標単位は、3.7.1 単位設定および、3.7.2 座標表示設定にて任意の座標様式で表示することができます。計測した座標情報は、座標情報ウィンドウ上にリスト表示します。全ての情報を削除したい場合は、全クリアをクリックします。



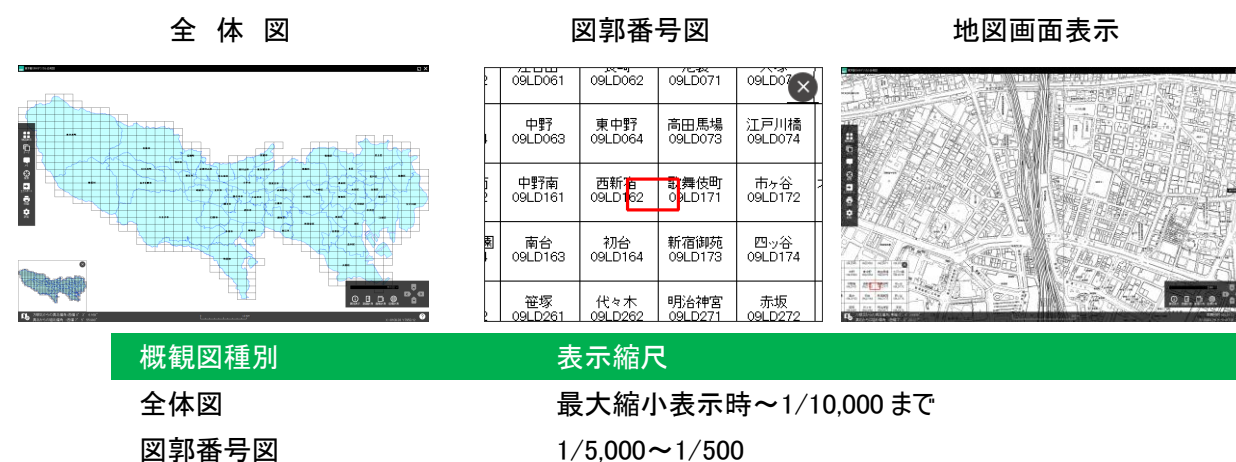
ポイント:

座標計測は、右クリックで終了となります。

4.1.6 その他 図面情報関連機能

概観図表示

概観図を表示します。概観図上の赤枠 () 部分が、地図画面で表示されているエリアとなります。概観図上で、任意のエリアをクリックすると、地図画面に表示される地図エリアが概観図でクリックした地点に切り替わります。概観図は、表示する地図の縮尺に応じて、全体図、図郭番号図の2段階に切り替わります。



ポイント:

概観図を表示する場合は、再度「概観図」表示アイコンをクリックします。非表示とする場合は、概観図内の「⊗」ボタンをクリックします。

方位角情報表示

図上のマウスカーソルを合わせた地点の方眼北からの真北偏角および真北からの磁北偏角を表示します。方眼北、真北、磁北の関係については、「11.2 方眼北、真北及び磁北について」を参考ください。

方眼北からの真北偏角: 東偏 $0^{\circ} 9' 15.823''$
 真北からの磁北偏角 : 西偏 $7^{\circ} 2' 10.657''$

ポイント:

- ① 本プログラムでの磁北計算は、2020 年 4 月 1 日時点で国土地理院ホームページに記載された近似式で求めています。

[出典] 「地磁気値(2020. 0年値)を求める」 https://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/geomag/menu_04/index.html

- ② データ: 真北及び磁北の偏角は、度($^{\circ}$)分($'$)秒($''$)の単位で示しています。度と分と秒の関係は次のとおりです

1 度 = 60 分

1 分 = 60 秒

縮尺表示

表示する地図に関して、縮尺表示を行います。



図郭情報および座標情報表示

1/2,500 地形図の図郭名および図郭番号を表示します。なお、座標情報については、3.7.2 座標表示設定にて、経緯度表示と公共座標表示を切り替えることができます。

東京国際空港/南部 09LD782
 $35^{\circ} 32' 13.394''$, $139^{\circ} 46' 22.748''$

その他: ヘルプ表示

ユーザマニュアルを表示します。ユーザマニュアルは PDF にて構成されています。必要に応じて、PDF 閲覧ソフトをご用意ください。



ポイント:

ユーザマニュアル PDF は、Acrobat Reader が必要です。お持ちでない方は、Adobe 社から無償でダウンロードできます。

5 免責事項

株式会社ミッドマップ東京（以下「ミッドマップ東京」という。）は、製品における保証及び免責・賠償責任等について、次のように取り扱います。

5.1 保証及び免責事項

ミッドマップ東京は、「本製品」について何らかの障害又は異常がある旨の連絡を申請者から受け、当該製品をミッドマップ東京へ送付頂いた場合に限り、動作確認済みのディスクと交換します。ただし、当該障害等が次の場合については保障の対象から除外します。

- ①購入者の過失により破損した理由による障害等である場合
- ②製品に明示された使用方法以外の方法で使用了ことによる障害等の場合
- ③パーソナルコンピュータ、OS、プリンタ等のドライバーが原因による障害等の場合

ミッドマップ東京は、「地形図」が申請者の利用目的に適合すること、又はデータが網羅的であることについて保証するものではありません。また、「地形図」が実際の地形、地物、名称等と完全に一致することを保証するものではありません。

5.2 賠償責任

ミッドマップ東京の購入者に対する損害賠償責任は、購入者が直接被った現実の通常損害に限定し、購入者がミッドマップ東京へ製品の対価として既に支払った額を超えないものとします。

購入者が利用許諾条件を遵守せず、問題が発生した場合には、購入者は自己の費用と責任において係る問題を解決するとともに、東京都、ミッドマップ東京に何等の迷惑又は損害を与えないものとします。

購入者が製品に関する著作権等を侵害した場合又は、東京都及びミッドマップ東京に損害を与えた場合には、購入者が東京都及びミッドマップ東京に対して損害賠償責任を負うものとします。

5.3 紛争処理

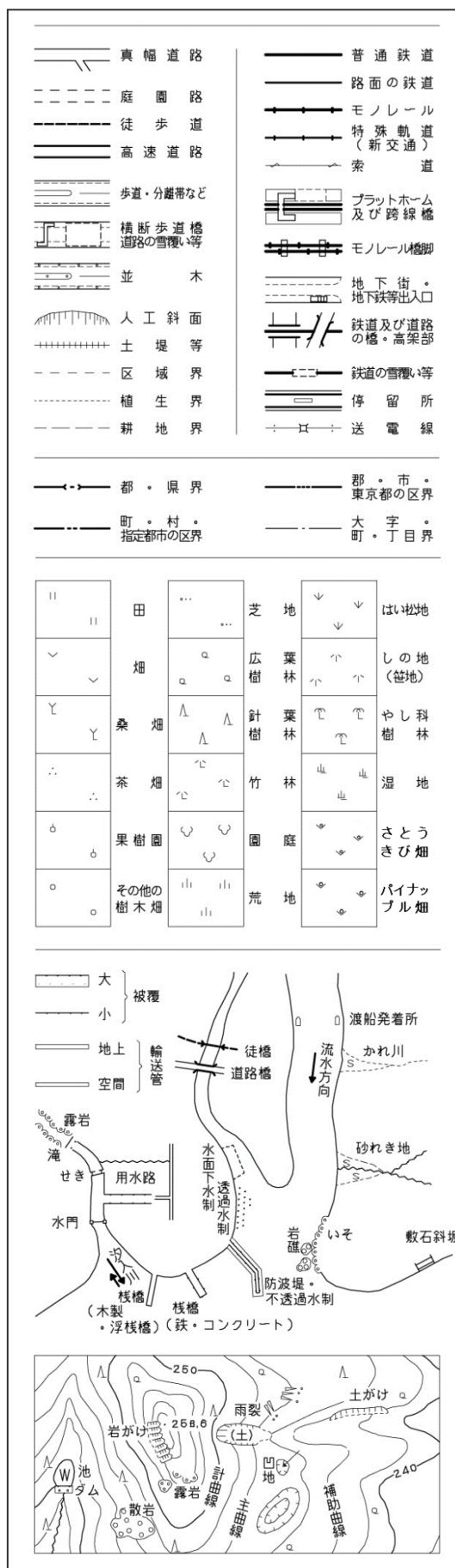
ミッドマップ東京が裁判訴訟を行う場合には、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

6 資料

6.1 圖式凡例

	普通建物		国家三角点
	堅ろう建物		国家水準点 国家多角点及有する標高を東京基本点とする東水
	無壁倉		電子基準点
			標石を有しない標高の測定による無高点
			・25.6
			・25.6
	神社		屋門
	寺院		鳥居
	キリスト教会		高塔
	学校		電波塔
	病院		油井・ガス井
	交番・駐在所		給水塔
	消防署		火の見
	郵便局		墓碑
	工場		記念碑
	発電所		立像
	変電所		路傍祠
	倉庫		灯ろう
	火薬庫		城・城跡
	揚排水ポンプ場		独立樹（広葉樹・針葉樹） （やしろ）
	官公署		煙突
	役場支所及び出張所等		水位観測所（量水所）
	裁判所		タンク
	検察庁		風車
	税務署		灯台
	森林管理署		航空用灯台
	職業安定所		灯標
	図書館		トンネル、坑口
	美術館		消口
	老人ホーム		噴出口、噴気口
	銀行		温泉・鉱泉
	公会堂・公民館		採石場
	幼稚園、保育園		採鉱地
	保健所		材料置場
	協同組合		公園
	市場		駐車場
	ガソリンスタンド		テニスコート
	映画館		グラウンド
	デパート・スーパーマーケット		石段
	指示点		へい
	太陽光発電設備		さく等
	自然災害伝承碑		ブール

(左上に続く)



6.2 方眼北、真北及び磁北について

東京都縮尺 1/2,500 地形図の各地物の位置座標は、平面直角座標系が採用されており、原点からの南北方向の距離と東西方向の距離で表示されています。

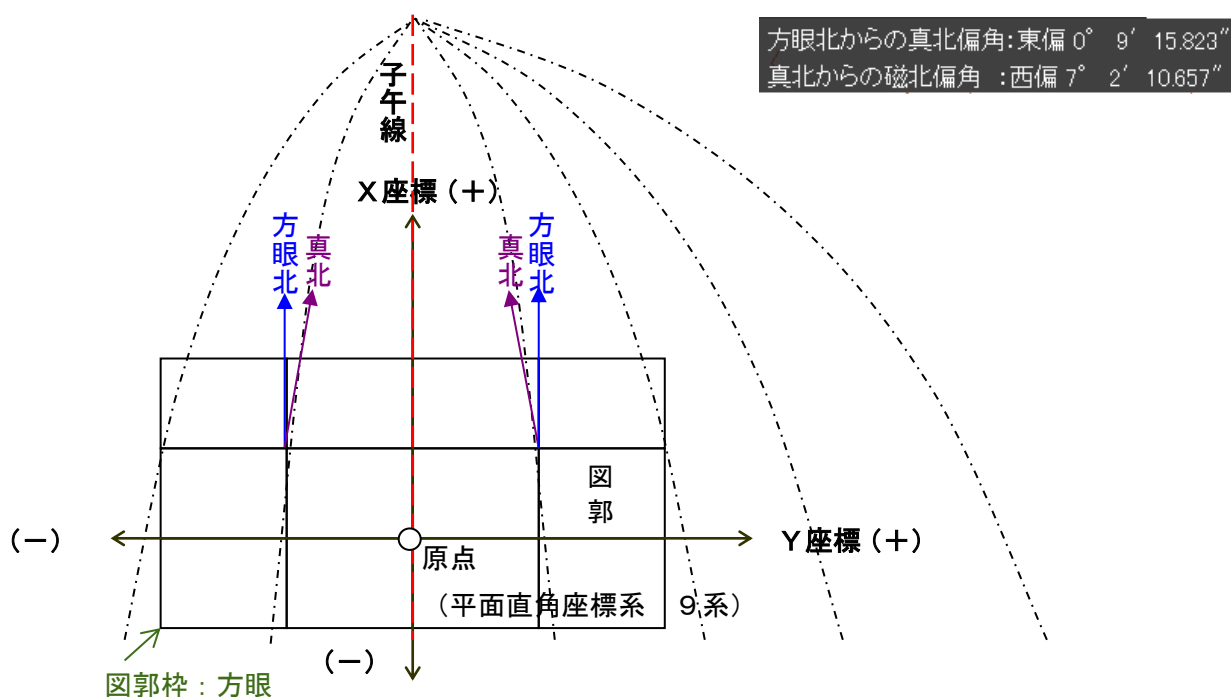
この平面直角座標系で作られている地形図は、下図に示すように、原点を通る子午線方向を各図郭の縦線として、赤道方向を横線とした方眼(メッシュ)で構成されています。

「方眼北」とは、すなわち東京都縮尺 1/2,500 地形図の図郭の縦線の上(北)方向となります。

「真北」は、北極点を示す方向であり、本ソフトが示す「真北」の方向は「方眼北」からの角度(偏角)で示しています。偏差の向き(東西)については、この図郭が平面直角座標の原点を通る子午線のどちら側にあるかで判断します。

子午線の西か東かを判断するには、地形図からY座標を読み取ることで確認できます。すなわち、Y座標がプラス(+)であれば原点の東側ですので、真北は西偏〇〇度となります。一方、Y座標がマイナス(-)であれば原点の西側に位置しているので、真北は東偏〇〇度となります。

「磁北」は、磁石が示す方向であり、本ソフトが示す「磁北」は「真北」からの角度(偏角)で示しています。



ポイント:

真北及び磁北の偏角は、度(°)分(')秒(")の単位で示しています。度と分と秒の関係は次のとおりです

1 度 = 60 分

1 分 = 60 秒

例) 東偏 0° 9' 15.823" を 10 進法で表記すると 東偏 0.154° となります。

$$0 + (9 + 15.823 \div 60) \div 60 = 0.1543 \dots$$

注)「東京都 2,500 デジタル白地図 2025 DM データビューワ(Quick Start Guide)」は、見直しを行うことがありますので、最新の Quick Start Guide は、以下のコールセンター窓口にお問い合わせください。

株式会社ミッドマップ東京

〒 153-0064 東京都目黒区下目黒一丁目7番1号

コールセンター電話: 03-5435-3698

E メールアドレス: midmap@midmap-t.co.jp

ホームページ: <https://www.midmap-t.co.jp>